

基礎交付金事業実績書

団体名：東郷地区コミュニティ推進協議会

1 総事業費 1,963,953 円

2 事業内容

(1) 事業名 学社融合事業（青少年育成事業）

事業費	163,083 円
事業内容	◆南方元気っ子クラブの協働（移動教室の運営） 開催日：6/16 開講式 南方教育事務所主担 8/ 1 移動教室 東郷地区コミュニティ推進協議会主担 12/14 クリスマス会 西郷地区コミュニティ推進協議会主担 1/26 閉講式（中止） 中央地区コミュニティ推進協議会主担 場 所：奥松島縄文村歴史資料館・白謙かまぼこ工場・駄菓子屋ジャンプ 参加者：39 名 内 容：東郷として主担となった移動教室を企画・運営。南方地区 3 小学校児童（3～6 年生）を対象とし、工場見学や火起こし、勾玉作り等の体験を通して児童間の交流を図った。主担以外の教室等は、サポート役として活動。 ◆東郷小学校創立 150 周年記念式典への対応（名入り定規の贈呈） 対応日：11/22 贈呈先：東郷小全児童 126 名+教諭 内 容：地域内の東郷小学校が開校 150 周年を迎え、記念式典の開催に伴い、「2024 創立 150 周年記念 登米市立東郷小学校」と印字した 20 cm 定規を全在校生 126 名へ贈呈。 ◆ぬり絵コンテストの募集および掲示 取組み期間：12/19～1/10 応募数：東郷小学校 全児童 75 名/126 名応募 応募率 60% 内 容：東郷小学校の児童を対象に冬休み期間を利用して開催。当コミュニティで国蝶のオオムラサキを育てていることに関連し、「世界に一羽だけのチョウを描こう」というテーマでぬり絵を募集。 ◆e スポーツ太鼓の達人大会 開催日：3/20 場 所：東郷公民館・定住促進センター 参加者：121 名 スタッフ 32 名 計 153 名

	内 容：○e スポーツ太鼓の達人大会（その他 e スポーツ体験） ○プラモデル作り ○手作りこんにやく・ポップコーン等のふるまい ○大嶽山観音太鼓による演奏 ○登米市社会福祉協議会あやめ園の菓子を販売 ○南方町の飲食店による出店
事業成果	○南方元気っ子クラブ ・主担した移動教室の縄文村歴史博物館では、火起こし体験や勾玉作り、貝塚見学等を実施。その他にも白謙かまぼこ工場にて笹かまぼこの試食や駄菓子屋ジャンプで買い物を楽しんだ。今回は時間の関係上アンケートを徴する事が出来なかったが、児童達の希望に応えられるように、ニーズの収集に努めたい。 ○東郷小学校創立 150 周年記念式典への対応（名入り定規の贈呈） ・日常生活の中でも、利用頻度のある定規を贈呈することで、令和 10 年 3 月末に閉校となる東郷小学校に在校生として通学していたことを定規を使用する際に思い出し、母校への愛着心を育むことを期待したい。 ○ぬり絵コンテストの募集および掲示 ・冬休み期間を利用した事や、クラスによっては授業の中で制作の時間を設けてもらった事により、約 6 割の児童が応募してくれた。児童達の個性豊かなアイデアで描かれた作品は、東郷公民館へ展示している。他の事業を開催する際にも展示しており、会場を華やかに彩っている。 ○e スポーツ太鼓の達人大会 ・今回、当コミュニティは後援という形で参加。 ・宮城県で太鼓の達人大会を開催するのは初めての為、来場者の人数を予想出来なかったが、東郷地区以外からも足を運んでもらった事で、大会の申込人数も概ね満員となった。 ・オープニングセレモニーとして大嶽山観音太鼓に演奏を依頼。迫力のある演奏で華々しいスタートを切った。実際に本物の太鼓を叩ける体験会も実施し、地域の文化と触れ合う良い機会となった。 ・手作りこんにやくのふるまいは、料理教室に通う地域の方々に依頼。準備していた 200 食分が完売する程、大変好評だった。 ・地域の方々も張り切ってこんにやく作りに参加してくれた為、今後も子供達と地域住民が一体となって楽しめる場を設けていきたい。

(2) 事業名 地域活動事業

事業費	375,002 円
-----	-----------

事業内容	◆ふれ♡隊活動 活動日：5/23、7/18、8/27、9/7、9/15、10/9、10/25、11/11、12/9、1/15、2/7、2/21 計12回 場 所：各行政区集会所等 活動団体等：6行政区の老人クラブ（複数開催あり） 参加者：延べ202名 内 容：間違い探しやお絵描きゲーム等の脳トレーニングに繋がるレクレーションを実施。また、ボッチャやラダーゲッター等の軽スポーツを通じて、地域住民相互および公民館職員との良好なコミュニケーションづくりに努めた。 ◆花いっぱい運動 (各行政区) 取り組み期間：6/9～6/16 場 所：各行政区花壇等 活動自治組織：8行政区（地区内全行政区） 参加者：延べ266名 内 容：快適な環境美化に資するため、各行政区が行う花壇の植栽等に要する経費に対して補助金を交付。 ◆清掃作業（東郷公民館周辺の清掃活動） 開催日：12/6 場 所：東郷公民館周辺 参加者：12名 内 容：年末奉仕作業として役員中心による落葉・雑草等の除去、側溝の清掃 ◆自主防災組織へのサポート 実施日：8/4、10/12、11/3、11/10、11/17、12/1 計6回 場 所：各行政区集会所等 活動自治組織：6行政区 参加者：延べ403名 内 容：6行政区が主体的に実施した自主防災訓練（防災講座、避難訓練、炊き出し訓練、応急救護訓練）に対しての補助金を交付。
事業成果	○ふれ♡隊活動 ・前年度実績9回、参加者130名、本年度は12回、参加者200名と大幅に増加していることから、住民同士の交流や居場所作りに繋がっていると認識。 しかしながら、同じ行政区で複数回活動している為、参加メンバーの変動は少ない状況。新しい参加者を増やし、地域の交流の場を広げていきたいと考える。 ○花いっぱい運動

	・域内の全 8 行政区で取り組み、延べ 266 名（前年 306 名、40 名の減）が参加され、環境美化活動を通じて親睦を深めているものと捉える。 ○清掃作業（年末年始奉仕作業） ・公民館周辺の側溝や雑草等の清掃を行い、環境美化に繋がったものと認識。 ○自主防災組織へのサポート ・域内の 6 行政区で取り組み、延べ 403 名（前年 675 名、272 名の減）が参加された。避難訓練や応急救護訓練等は災害が発生した時の正しい行動について、改めて学ぶ機会となり、炊き出し訓練は住民の団結力の向上に繋がったものと捉える。一方、参加人数は前年に比べて著しく低下している状況。若い世代を巻き込みながら、いざという時の備えを強化していきたい。
--	--

(3) 事業名 自治組織等活動奨励補助事業

事業費	180,000 円
事業内容	◆自治組織が主体的に行う行事等に対する補助 実施日：6/16、8/9、11/3、11/3、11/10、11/10 計 6 回 場 所：各行政区集会所等 活動自治組織：6 行政区 参加者：延べ 385 名 内 容：行政区が主体的に地区内住民の親睦と交流を目的に企画・実践した取り組み（各種スポーツ大会）に対して補助金を交付。
事業成果	・域内の 6 行政区で取り組み、延べ 385 名（前年 367 名、18 名の増）が参加され、グランドゴルフ大会や運動会等を通して、世代間交流に寄与したものと捉える。 ・参加者からは「年齢が高い為、参加をためらっていたが、子ども達や若い人に混ざって楽しく取り組めたので参加して良かった」という声もあり、仲間作りに一歩前進したものと捉える。

(4) 事業名 ふれあい軽スポーツまつり事業

事業費	214,417 円
事業内容	◆ふれあいスポーツまつり 開催日：2/2 場 所：東郷公民館（定住促進センター） 参加者：112 名 内 容：行政区対抗戦で、ガンバルーン（7 種目）とボール送りリレーを競技。住民同士の親睦および多世代間交流を図った。
事業成果	・区長のご協力により、参加者は総勢 112 名に及んだ。ガンバルーンは簡単に出来る競技の為、子どもや高齢者でも楽しみながらプレーしていた模様。 ・最初はルールやゲームの流れを掴むまで、遠慮がちな盛り上がりだったが、ゲームを重ねる度に徐々に盛り上がりも最高潮に。得点が入った時は、チームのメン

	バーとハイタッチや拍手をしながら喜び合っていた為、住民同士の親睦を深める事が出来たと考える。 ・区長から「行政区によって参加者の年齢に差がある為、景品にはあまり優劣を付けないで欲しい」という意見があり、景品は可能な限り差が無い物を選定。その結果、参加者からも大変好評だった為、継続していきたい。
--	--

(5) 事業名 環境整備事業

事業費	57,612 円
事業内容	◆東郷小2年生オオムラサキ観察会対応 対応日：7/12 場 所：オオムラサキハウスおよび東郷公民館 参加者：21 名 内 容：東郷小 2 年生の総合学習の一環として、オオムラサキの羽化シーンの上映およびパンフを用いた生態等の学習や成虫を実際に観察するカリキュラムをサポートした。
事業成果	・一年の成長過程が見える写真を作成・掲示した事により、興味や関心が高まった模様であり、総合学習に寄与出来たものと捉える。

(6) 事業名 子ども農園事業

事業費	46,967 円
事業内容	◆植付けの陣：中止 ◆収穫の陣 開催日：10/26 場 所：借用畑（東郷公民館近隣） 参加者：22 名（うち児童 11 名） 内 容：さつまいもと落花生の収穫。ポップコーン作り、クイズ大会等を実施。収穫物は重さを計量し、大物賞大会を開催。
事業成果	・自分で収穫した野菜の中から、さつまいもは大きい物を 1 つ、落花生は 20 粒厳選して計量。重さが大きい上位 3 名には大物賞として景品を授与。競い合いつつも楽しみながら収穫出来た模様。 ・自分で収穫した野菜は一段と美味しいものになったと考える。 ・一方で、児童の参加数は、前年度に比べて 6 名の減となってしまった。チラシや SNS を用いて情報を発信し、参加人数の増加及び地域との交流に努めたい。

(7) 事業名 高齢者支援事業

事業費	106,405 円
事業内容	◆独居高齢者へシクラメン贈呈 贈呈日：11/22 場 所：東郷公民館

	対象者：78 名 内 容：65 歳以上かつ独居者へ各区長の協力を得て、シクラメンを贈呈。 ◆東郷福寿大学閉講式および芸能祭への運営 開催日：2/13 場 所：東郷公民館 参加者：67 名 内 容：東郷福寿大学全 6 回のうち、1 回でも受講した方には修了証書を授与。全て受講した方には皆勤賞をプレゼント。芸能祭では、各行政区からカラオケやダンス、合唱等が披露された。
事業成果	○一人暮らし高齢者へシクラメン贈呈 ・前年に引き続き、不織布でラッピングすると共に、個人名を記載したメッセージカードを添付。 ・区長から各戸へ配布してもらったが、皆さん喜んでいましたという声があった。 ・独居の高齢者が増加傾向にあり、65 歳以上でも現役で働いている方も少なく無い。区長からは「対象者の年齢を引き上げる、または独居に拘らず〇歳以上の夫婦へ贈呈する、等に対象者を変更してはどうか」という意見もあり、次年度に向けて検討していきたい。 ○東郷福寿大学閉講式および芸能祭への運営 ・芸能祭では行政区毎に、カラオケや合唱、ダンスなどを披露し、大いに盛り上がった。出演者の方は、芸能祭の為に何度も練習したと話しており、芸能祭への熱意を感じた。 ・また、スペシャルゲストとして、東郷小学校の 1 年生がマツケンサンバのダンスを披露。児童達のパワフルな姿を見て、会場全体が和やかな雰囲気になった。児童達との交流は参加者にとっても喜んでもらえた様子であり、今後も高齢者と子ども達が交流する場を設けていきたい。

(8) 事業名 先進地移動研修事業

事業費	28,749 円
事業内容	◆一関市藤沢市民センターおよび気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の見学 開催日：11/14 場 所：一関市藤沢市民センター 内 容：第 72 回優良公民館表彰を受賞された一関市藤沢市民センターを訪問。「自分達の地域は自分達で創る」という主体的な活動の見聞。
事業成果	・藤沢町では、FEST という若者を中心とした藤沢町住民自治協議会を立ち上げ、若者が出した意見を何とか形にしたいという思いから、VR 体験や e スポーツ体験、盆踊りフェス等を展開し、活力あるまちづくりに努めていた。 ・月に 1 回の理事会や住民懇談会、チーム会議などを実施。地域住民が改善点や不満を気軽に話せる場を設けることが住民主体のまちづくりの鍵になっていた。

	・月に1回自治会新聞を発行し全戸配布することで、こまめに情報を発信。 ・本研修を参考に、若者の参画を促す為 SNS 上でのやり取りや情報発信に努めていきたい。
--	--

(9) 事業名 ふれあい交流まつり事業

事業費	163,518 円
事業内容	◆ふれあいあじさいまつりの運営：中止 ◆ふれあい収穫まつりの運営（南方コミュニティ運営協議会主催） 開催日：11/2、11/3 場 所：南方公民館・南方農村環境改善センター 参加者：1,031 名 内 容：○南方文化協会会員、町内小中学校生徒等によるステージ発表 ○ 〃 各公民館教室、翔裕園・南風園等による作品展示 ○Mr. ハムスター氏によるマジックショー ○鉄道写真家武川健太氏による写真展 ○みなみかた郷土かるた、e スポーツ体験等の運営 ○地元商工会等による農産物等の販売
事業成果	・来場者数は前年度 865 名に対し、本年度は 1031 名と 166 名の増。e スポーツ体験やワードラリー、マジックショー等新たな試みも取り入れた事が参加者の増加に繋がったものとする。また、みなみかた郷土かるた体験は大盛況であり、南方町の古くからの文化に触れてもらう良い機会となった。

(10) 事業名 コミュニティ組織運営費

事業費	628,200 円
事業内容	◆協議会組織運営 ・職員および集落支援員のがんばる地域づくり応援事業に係る業務の時間外手当として執行。 ・地域巡回等に用いるリース車の維持管理経費として執行。 ・東郷福寿大学・芸能祭で利用するカラオケセットや音響機器を購入。
事業成果	・令和3年度に策定した向こう5ヵ年（令和3年度～7年度）の「南方東郷地区第2次地域づくり計画書」に基づき事業を展開していく中、今年度は中止・延期する事業もあったが、地域住民と密なコミュニケーションを取ることで、居場所づくりの構築に繋がったと考える。また、世代間交流等を目的とした事業を開催し、理事や役員のサポートにより、住民同士の親睦を深める機会となり、地域の活性化に寄与したと捉える。 ・音響機器は地域の総会やグラウンド・ゴルフ大会など、大人数で集まる場において特に需要が高く、効果的な活用に努めている。